

各位

 総合メディカル株式会社  
 代表取締役社長 田代 五男

## 「そうごう薬局」407店舗のスタッフ約2,200人「認知症サポーター」取得へ

～10月末取得完了予定。薬局がめざす地域の「健康情報拠点」に向けての取り組み～

当社グループは、「そうごう薬局」を中心に全国に525店舗の調剤薬局を展開しています。このたび、グループ全体の約8割に当たる407店舗のスタッフが「認知症サポーター」となるための養成講座を10月末までに受講します。これは厚生労働省が推進する、薬局を地域の「健康情報拠点へ」という方針に沿うもので、当社は患者さんに対して認知症への対応をはじめ、医療・介護・セルフメディケーションの支援をおこない、地域住民の「かかりつけ薬局」となる開かれた薬局づくりに向け、今後も取り組みを進めていきます。

### 記

#### 1. 認知症サポーターとは

高齢者人口の増加による認知症対策として厚生労働省の後押しで2005年から始まった取り組みで、認知症に関する正しい知識と理解をもち、認知症の人や家族を温かく見守り支援する応援者のこと。6時間の講座を受けた先生役の「キャラバン・メイト」が、全国各地で一般市民を対象に「認知症サポーター養成講座」を開き90分の講座で認知症の基礎知識を身につけることで取得できます。認知症サポーターは6月末時点で全国に517万2,225人。2012年に厚生労働省が発表した「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」に「認知症サポーター」普及推進が盛り込まれ、2017年度末で600万人をめざしています。



受講後、認知症サポーターの証としてオレンジリングが配付されます。

#### 2. 当社グループの取り組み概要

(1) 実施店舗：「そうごう薬局」407店舗

※グループ全体の約8割に当たる店舗で取得後、その他の店舗についても順次取得をめざします。

(2) 対象者：そうごう薬局のスタッフ（薬剤師、調剤事務、管理栄養士など全スタッフ）約2,200人

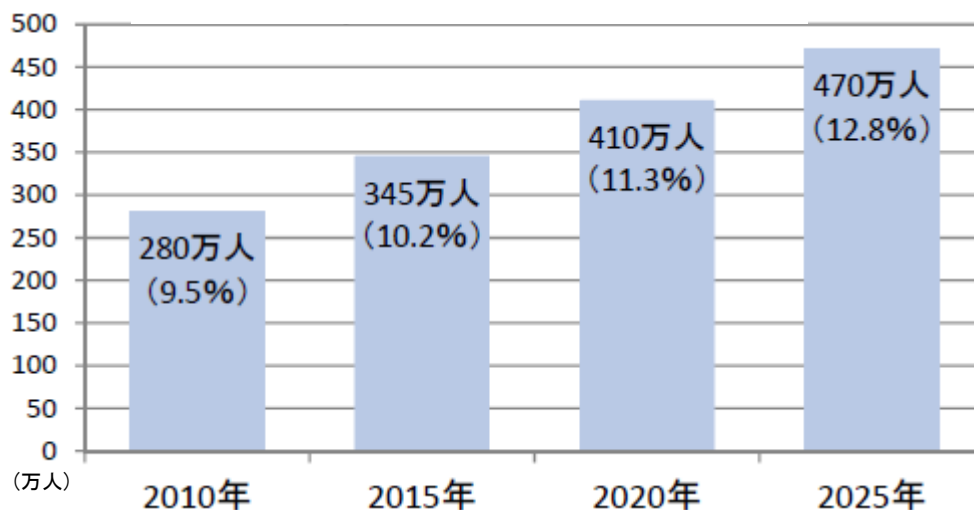
(3) 取得完了時期（予定）：2014年10月末

(4) 期待する効果：認知症の患者さんに対するケアの向上、医療・介護関係者など他職種との情報共有強化、地域に開かれた薬局づくりなど。

#### 3. 社会背景（ご参考）

厚生労働省の推計によると、2010年の認知症高齢者数は約280万人で65歳以上の人口の約10%にあたります。また、2025年には、その数は約470万人に増加し、65歳以上の人口の約12.8%に上ると言われています。また、認知症になる可能性がある軽度認知障害の高齢者（予備軍）も約380万人いると推計されており、65歳以上の4人に1人が認知症および予備軍となる計算で、早急な対策が必要な状況となっています。

【認知症高齢者数と、65歳以上の人口に対する認知症の割合の将来推計】



出典：認知症高齢者の現状（2010年）厚生労働省

【 総合メディカル株式会社の会社概要 】

本 社	福岡市中央区天神二丁目 14 番 8 号
設立年月日	1978 年 6 月 12 日
代 表 者	代表取締役社長 田代 五男
事 業 内 容	医業経営コンサルティング、医療機関への医師の紹介、医師の転職・開業支援、 コメディカルスタッフの紹介・派遣、保険調剤、医療機器などのリース、入院 患者向けテレビのレンタル
資 本 金	35 億 1,300 万円
売 上 高	1,033 億 1,800 万円（2014 年 3 月期、連結）
拠 点	札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡など全国 28 の営業拠点、 全国に 525 店舗の調剤薬局を展開

〈 本件に関する問い合わせ 〉 広報 IR 部 森元・伊藤 092-713-9181

以 上